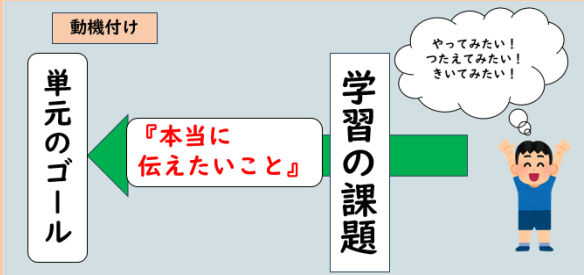


2 研究の手だての概要

手だて① 『本当に伝えたいこと』を表現し合う言語活動

(P3)



☆『本当に伝えたいこと』とは…

児童が学習の課題に対して、主体的に意欲的に相手に伝えたいと思う自分の考えや想いのこと。

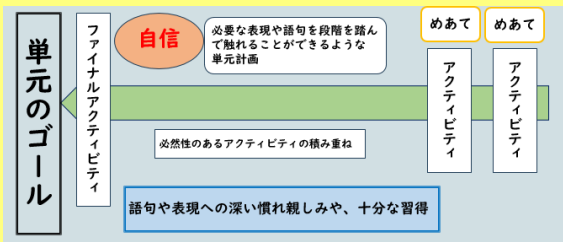
本研究では、児童にとって分かりやすい「単元のゴール」を設定することで、『本当に伝えたいこと』を主体的、意欲的に表現できると考えている。

☆「単元のゴール」とは…

「学習の目的」や「やり取りを行う場面や状況の設定」を踏まえ、児童にとってイメージしやすく、意欲的に学習活動に取り組むことができる到達目標のこと。

動機付けとなるゴール設定

手だて② 必然性のある単元計画の設定 (P4)



☆「必然性のある単元計画」とは…

「単元のゴール」を目指す上で、児童が『本当に伝えたいこと』を伝え合うために必要な表現や語句を身に付けられるよう、児童にとって必然性のあるアクティビティ(言語活動)を学習段階に合わせて配置した単元計画のこと。

必然性のあるアクティビティ (言語活動)

手だて③ 英語活用の場の設定

(P5)

英語の学習で学んだことを生かし、活用して気付いたことや身に付けた力を学習に還元する場として設定している。

- ・ English Day
- ・ 留学生との交流
- ・ エジプト現地校との交流
- ・ TGG など



English Day



留学生との交流

学習したことを生かす
実践的な
コミュニケーション

手だて④ 英語教育の環境整備 (P6)

日常的に英語や外国の文化に触れる

児童が英語に触れる機会を充実させ、英語学習への興味関心を高めることをねらいとした。

- ・ 「Talking Time」 ・ 英語学習のルール
- ・ 掲示物の工夫(教室名・外国の文化の紹介など)
- ・ 給食で世界旅行



掲示物の工夫



給食で世界旅行